

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 5 年 2 月 7 日

事業所名 児童デイサービス・ポラリス

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		個別対応可能な部屋がある	適切である 感染対策の距離感も保っている
	2	職員の配置数は適切である	4			適切な人数を事前に話し合い配置してもらっている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			車椅子が入れる広さの確保、急なふらつきの際に持てる手すりも設置されている
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			良かったところや悪かったところ今後どうしていくか振り返れる様職員間で話し文章に残している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	1	△3		アンケートを読み以降の把握、改善できる事は話し合い対応している
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			年に一回ホームページにて公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		4		今後機会があれば外部評価も行き、業務改善につなげたい
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		社内SNSで講習情報を日常的に通知。	定期的に行われており支援に活かせるよう参加している
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			子ども達の日々の姿を振り返り、分析し対策を考え次の日を迎えられるようにしている
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			カレンダーを使い記入する項目を絞り、精査しているが始めたばかりの為続けていきたい
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			定期的に話し合い行っている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			偏らない様意識し支援を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			状況に応じて支援がより良い物となる様、強化する事や経験してほしい事等を事前会議で決めている
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	4			どちらの時間も経験出来る様設定出来ている 集団ではどのような事が出来るか日々考え偏らぬ様支援する事を意識している
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		必ず朝礼から1日を開始する。	前回利用時の様子や起こりえる事案等事細かに打ち合わせをしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			良かったところ、もっとこうすれば良かった事話し合っている 事前に打ち合わせしたが、対応出来なかった事は業務後振り返り次は対応出来る様意見を出し合っている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			他の職員が見ても分かる様意識し記録を取っている
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			モニタリングを行った後、複数人で計画の見直しも含む会議が出来ている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4			複数組み合わせ合わせて支援が出来ている

関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	△1	事業所で取り組んでいる支援内容・評価は事か間化に共有している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4		その日の様子等は共有している 聞きたい情報があれば積極的に聞くようにしている 行事予定等は保護者を通じて把握している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	主治医や連絡先は把握している 薬の取り扱いや通院した時の結果等コピーを頂き、職員間で共有している
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	3	新1年生で来られる場合等は連携を取り情報を取っていききたい
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4		サポートブックの作成を行い、一冊でどんな人か分かる様作られている
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	今後機会があれば受けたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4	コロナが終息したら機会を設定したい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		4	コロナが終息したら時間のある時は参加したい
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4		帰りの送迎時や面談にて事細かに話し合い共通理解を持って進めていけるよう意識している
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2	△2	支援で行って良かった事や逆効果だった事、お家でも出来る事等伝える様にしている	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		契約時や面談時送迎時にてお伝えしている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	2	△2	自分で調べたり、ケース会議等へ上げ話し合い良い助言が出来る様にしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		勉強会の機会を持たた 相談の多い事案を年に数回行える事を目指したい
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		状況によっては、何故このような対応を取ったのか丁寧に説明している 対応すべき事は速やかに対応している
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4		発信出来ている 内容も見やすく工夫されている
	35	個人情報に十分注意している	4		子どもの前でも気を付けている
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4		短い時間で対応出来る様配慮している
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	コロナが終息したら時間のある時は参加したい

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4			月1回の避難訓練の様子が分かるようになっている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			毎月15日に行っている その都度避難の仕方や経路等確認している
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	2	△2		職員間で研修をしたり、オンライン研修に参加し知識を得ている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4			職員間で研修をしたり、オンライン研修に参加し知識を得ている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			△1×3	保護者との事前面談にて確認し、職員間で共有している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		サーバーでの情報共有	その日中に振り返りなぜ起こったか、対策等しっかり話し合い次につなげている

※△はどちらともいえない場合